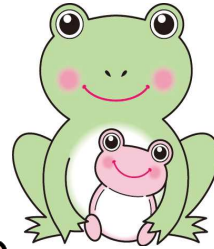
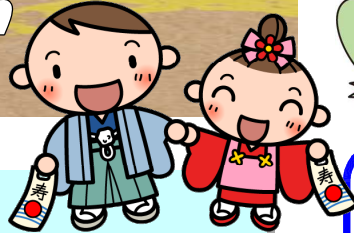


ケロちゃん通信

2018年 11月 第41号



ながおか医療生協 あたごこどもクリニック

〒940-0038 長岡市琴平1丁目2-1

電話番号 0258-36-5810

<http://www.nagaoka-iryousaikyou.jp/>

診療案内

☆日に日に寒くなり、小児科外来も冬モードになってきました。患者さんの数も増え、予約していても待合室が混み合う日も増えてきました。各地でインフルエンザの散発も耳にするようになってきました。もうすぐ冬本番です。

☆インフルエンザワクチンの予約は、10月早々に予定数に達し、ネット予約は終了させていただきました。今後は窓口(電話)で対応させていただきます。新規の予約は終了させていただきましたが、キャンセルがあった場合などに、予約を入れられる場合もございますので、お問い合わせください。

☆せきこみ、ぜーぜーで自宅での吸入が必要な場合、1週間をめに吸入器の貸し出しを行っております。数に限りがございますので、必要であっても貸し出しできない場合もあります。特に今年のようにRSウイルス気管支炎が流行している年にはなおさらです。繰り返し吸入が必要なお子様、喘息発作を繰り返すお子様、気管支炎を繰り返すお子様は、1万円以下で購入できる吸入器もありますので、ご相談ください。

☆待合室のテレビは、今まではつけたままでしたが、今後は必要な時につけていただくように変更させていただきました。ご協力お願いいたします。

11月の診療予定:

本間医師 (2日午前・午後 16日午前)

受付開始: 一般診療は午前8時30分、午後15時30分です。

☆一般診療

直接来院の場合は、診療時間内に受診してください。
予約希望の場合は、前日0:00からスマホ、携帯、PCより予約システムでご予約ください。
付き添いのお母さん等が体調不良の時も、お気軽にご相談ください。
緊急の場合や、特別な相談がある場合には、まずお電話ください。

☆予防接種、乳児健診: スマホ、携帯、PCより予約システムでご予約ください(2ヶ月後の予約までできます)。今まで通り、窓口または電話でご予約もできます。

☆専門外来

①発達外来(第2・4火 13:30~15:30、予約制) 小児神経専門医による診療を行っています。言葉が遅い、コミュニケーションがとりづらい、落ち着きがない、かんしゃくを起こしやすい等の発達障害をご心配されている方、ひきつけ、チック、夜尿症などの発達や神経に関する心配がある方は、お気軽にご相談ください。

②アレルギー外来(第1・3金 9:00~12:00 予約可)

アレルギー専門医による診療を行っています。食物アレルギー、ぜんそく、アトピー性皮膚炎、花粉症等で心配がある方は、ご相談ください。

☆発達外来、アレルギー外来受診希望の場合には、電話で予約をお願いいたします。(Web予約はできません)

☆生協こどもクリニックとも協力して診察を行っています。病児保育室「すこやか」を利用希望の方は、当院を窓口にして利用することもできます。

インフルエンザの薬物療法について

インフルエンザは、基礎疾患がある場合などを除き、多くの場合、自然治癒が期待できる感染症です。反面、日本人は欧米人と比べ、インフルエンザでけいれんを起こしたり後遺症を残しやすい体質をもっていることも知られています。抗インフルエンザ薬は、発熱期間を短縮させ軽症化させる効果は知られていますが、重症化や合併症を防ぐ効果は明らかになっていません。抗インフルエンザ薬を使用するかどうかは、主治医と相談の上、決めてください。

①タミフル ドライシロップ内服 1日2回 5日間
4mg/kg/日(1歳以上)
6mg/kg/日(1歳未満)

カプセル内服 1日2回 5日間 (体重37.5Kg以上、成人)

②ゾフルーザ 1回内服 (錠剤を内服できる場合)
小児 10mg 1T 1回 12歳未満 10-20Kg
20mg 1T 1回 12歳未満 20-40kg
20mg 2T 1回 12歳未満 40Kg以上
成人 20mg 2T 1回 12歳以上、成人
20mg 4T 1回 12歳以上、成人80Kg以上

③イナビル 1回吸入 (上手に吸入できる自信のない場合はおすすめできません)
10歳未満 20mg
10歳以上 40mg

④リレンザ 1日2回 5日間吸入 (上手に吸入できる自信のない場合はおすすめできません)

⑤ラピアクタ点滴
上記の内服や吸入ができない場合、重症な場合

タミフルなどの抗インフルエンザ薬は、異常行動の可能性も指摘されているため、治療開始後少なくとも2日間は、こどもが一人にならないように、寝る場合にも添い寝するなどの配慮をお願いします

イナビル、リレンザは乳糖が含まれるため、牛乳アレルギーの方は原則、使用できません。

妊娠中・授乳中

- ①タミフル、リレンザ、ゾフルーザは、治療上の有益性が高い場合は使用可能です。明らかな危険性は報告されていません。妊娠中にインフルエンザにかかった場合、普段より重症化するおそれがあり、またおなかの赤ちゃんにもよくないと報告されています。
- ②イナビルの安全性はまだ不明です

1歳未満の乳児

- ①タミフル
1歳未満への使用が承認されており、日本でも厚生労働省が2016年11月に、タミフルの新生児と乳児への用法用量を追加し保険適応となりました。用量について、1歳以上は1回2mg/kgですが 1歳未満は1回3mg/kgになっています。

- ②麻黄湯にも症状軽減作用が知られています。

